



特集  
燃える地球

MESSAGE

## ラストロングと地産地消

「個人でゴミを減らす」には分別することが大事です。まず可燃ゴミの中から紙を抜きます。燃やせば灰になるだけですが、資源として出せば紙に戻ります。次にプラスチックを抜く。この二つでゴミは1/3ぐらい減ります。次に多いのが生ゴミ。この「生ゴミを減らしたい」と思ってコンポストを始めました。

最初は堆肥のできるコンポストでしたが、マンション暮らしなので堆肥はほとんど要りません。「肥料にして捨てる」という、訳の分からないことになって止めました。そんなときに「黒土コンポスト」というものがあると聞き、再開しました。まだ、始めて1年と少しです。このコンポストの一番いいところは、微生物が生ゴミを食べてくれるのでかさが増えないことです。微生物も人間と同じに油物が好きなので、天ぷらの廃油もそのまま入れます。生ゴミは細かく砕いて入れると速く食べてくれます。見えなくてもカワイイですね。乾いた土を被せておけば、においもしませんし、コバエも来なくなります。

コンポストは楽しいです。色々トライしますが、全部が全部成功しないから続けられているのかも知れません。ただ、一人だと限界があるので「ゴミクラブ」と呼んでいるオンラインコミュニティで情報交換をしています。友達をどんどんつくっていくような感じでやると続けられますね。

ゴミ清掃員の仕事は2022年の9月で10年になります。が、残念なことや悲しく思うことはいっぱいあります。一番腹が立つのはクレームや後出しです。回収した後にしれっとゴミ袋を置いて「回収に来ないじゃねえか」とクレームを入れる。これをやられて怒らない人はいないと思います。

最初の頃は怒っていましたが、段々「どうしたら止めてくれるかな」と考えるようになりました。「ルールだから」ではなく、「出し方を変えたら資源になるよ」とちゃんと叫ばなきゃ駄目なんですよ。自治体がパンフレットで提示しても、誰も見ません。例えば、小学生のうちに自分の地域のごみの出し方を教えておけば、違う地域に行っても分別の違いなどが分かるようになると思います。

清掃員としてのお願いの一番は「袋は閉じて欲しい」。袋を縛らない人は結構います。回収はテンポよくするので、閉じていないと、中身をばらまいてしまいます。ペットボトルや紙も、袋に入れてそのまま置くと、風で飛ばされたりします。

においはすぐに慣れます。人間の適応能力はすごいと思います。清掃工場での清掃車とすれ違くと、それはそれで「臭い」。同じ生ゴミでも、回収しているものが違うので、においが異なります。でも、自分の回収するゴミのにおいにはもう慣れました。

僕が考える地球温暖化のキーワードの一つは「ラストロング」です。これはアメリカの一つの思想で「愛するものであるなら、命なくなるまで使う」という考え方です。日本語では「もったいない」が一番近いですが、そもそも買うときに「これ、ちゃんと最後まで愛せるかな」と考えて買うということです。買うときに捨てることを考える、こういう気持ちもあっていいのかなと思います。洋

服はファストファッションで気軽に買い、すごく綺麗なものを断捨離でバンバン捨てるので「本当に欲しくて買った」というのが、今の日本の人たちには少ないのかも知れませんね。

もう一つのキーワードは「地産地消」です。地元のものを食べるというだけではなく、ゴミを減らすにも必要なことだと思います。例えば、僕がゴミ清掃員としての顔になったことで、芸人仲間や友達が「滝沢が回収するかもしれないから、分別しよう」となります。つまり「誰かがやっている」ということをちゃんと見えるようにすることが「地産地消」の鍵になります。自分の子どもが作ったキュウリは、簡単に捨てずにちゃんと食べますよね。そういう関係をつくるということです。

今は効率を優先し過ぎて、人の顔が見えなくなった世の中になっている気がします。こういう「地産地消」や「循環」的なことをもう一度考えないといけない時期に来ているのではないかと思います。



滝沢 秀一  
TAKIZAWA Shuichi

### プロフィール

1976年、東京都生まれ。太田プロダクション所属。東京成徳大学在学中の1998年、西堀亮とお笑いコンビ「マンガンズ」を結成。「THE MANZAI」で認定漫才師に選ばれるなどコンビとしての実績をあげている中、2012年、妻の妊娠を機に、ゴミ収集会社で働き始める。ゴミ収集の体験をもとにSNSや執筆、講演会などで発信している。2018年、エッセイ「このゴミは収集できません」(白夜書房)を上梓したあと、漫画「ゴミ清掃員の日常」(講談社)、「ごみ育」(太田出版)などを出版。2020年10月、環境省「サステナビリティ広報大使」に就任。同12月、消費者庁「食品ロス削減推進大賞」の委員長賞を受賞。

クリーンアップ☆ゴミ拾い